

地域再生計画（道整備交付金）の事後評価について

都道府県名	新潟県	事業実施主体	新潟県、十日町市	地域再生計画名	新潟県、十日町市「農とのふれあい・交流ネットワーク計画」
計画期間	平成22年度～平成26年度	評価責任者	新潟県十日町地域振興局農業振興部長 大平忠栄、十日町市 産業観光部長 渡辺正範		

	指標		基準値		目標値		実績値			達成状況に関する評価
			基準年度	年度	基準年度	年度	基準年度	評価		
①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	指標 1	道路、農道の一体的整備による市場へのアクセス改善（集出荷施設から市場への到達時間の5分短縮）	21分	H22	16分 (5分短縮)	H27	21分 (0分短縮)	H26	×	広域農道の評価対象路線の一部区間が整備未了のため、目標を達成できない見込みである。
	指標 2	道路、農道の一体的整備による都市へのアクセス改善（観光交流施設から関越道への到達時間の10分短縮）	25分	H22	15分 (10分短縮)	H27	21分 (4分短縮)	H26	△	広域農道第4号路線及び市道土市大石線の開通により、一部の効果が発現したが、未整備区間があり、目標の達成には至らない状況。
	指標 3	道路、農道の一体的整備による地域内施設間のアクセス改善（農村・観光交流施設から区域内施設への到達時間の15分短縮）	18分	H22	3分 (15分短縮)	H27	3分 (15分短縮)	H26	○	広域農道第4号路線の開通により、アクセス時間が15分短縮され、目標が達成された。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の発現状況										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）		目標の達成に対する評価及び今後の対応					
			計画	実績						
特別措置を適用して行う事業	広域農道事業		3.20km	1.05km	第4号路線の開通により、地域内施設間のアクセス改善が図られたが、平成23年3月長野県北部地震及び平成23年7月新潟・福島豪雨の発生により、業務が災害対応に追われ、事業進捗が遅れた。市場及び関越道へのアクセス改善のために第1、3号路線の整備をさらに先行し、効果の発現を図る必要がある。					
	市町村道事業		0.95km	0.95km	市道土市大石線の整備により、関越道へのアクセス改善が図られた。今後、接続する市道南雲原本線の整備を行い更なる効果の発現を図る。					
その他の事業										
計画外で独自に実施した事業	越後妻有アートトリエンナーレ		国内外のアーティストの作品が一同に会す国際的なアートフェスティバル。		マスコミにも取り上げられるなどPR効果もあり、県内外からの来客により交流人口の拡大につながっている。					
	十日町市地域防災計画に係る震災対策		災害発生時における道路機能の確保は極めて重要であることから、道路管理者は整備計画の整合を図り、代替性の高い道路の整備に努める。		災害により既存道路が寸断された場合の代替道路としての効果を発揮するため、引き続き整備を進めていく必要がある。					
	交通空白地解消社会実験事業		山間地域の一部が交通空白地であり、その地域に在住する移動手段をもたない高齢者等の交通手段を確保する。		予約型乗合タクシーを運行することで、地域住民のニーズに応じた公共交通手段が確保された。					
④評価方法	新潟県及び十日町市で、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。									
⑤事後評価の公表方法	十日町市のホームページに掲載									
⑥計画全体の総合評価	地域再生計画に基づき実施した事業は、広域農道第4号路線及び市道土市大石線の完了により、地域内施設間のアクセス改善が図られ、都市部との交流機能を強化し、農産物の集出荷や観光交流施設の利便性を高めるとともに、災害が発生した場合の緊急輸送路や迂回路の確保に対して一定の効果が図られたが、災害発生といった止むを得ない理由により目標全体の達成には至らなかった。									
⑦今後の方針等	本地域再生計画では、災害発生といった止むを得ない理由により目標全体の達成に至らなかったが、新たな地域再生計画【農と観光ネットワーク計画】（H27～31）に沿って引き続き、広域農道及び市道の整備を推進する。有機的な道路交通ネットワークを構築することにより、地域間や都市部との交流機能を強化し、農産物の集出荷や観光交流施設の利便性を高めるとともに、災害が発生した場合の緊急輸送路や迂回路を確保することで安全・安心なまちづくりに取組み、地域の活性化を図っていきたい。									